広 陵

第46号 2017.6.24

神奈川県立秦野高等学校同窓会会報

平成28年度総会報告

秦野支部　桐山昌幸（高15回）

平成28年度同窓会総会は、6月19日午前10時30分から秦野商工会議所を会場とし、来賓2名、会員98名の計100名の参加を得て開催された。

古木副会長の開会の言葉から、畑野会長、来賓の柳川顧問、神戸校長の挨拶の後、桐山支部長の議事により議事に入った。平成27年度事業、決算報告が行われ承認された。続いて平成28年度事業計画、予算の議案説明が行われ、いずれも異議なく原案のとおり可決、承認された。その他の議案として久保寺副校長から「創立90周年記念事業の活動状況と協力へのお礼の挨拶」があり、苅籠副会長の閉会の言葉で盛会のうちに締めくくられた。引き続き行われたアトラクションは、秦野高校吹奏楽部の演奏が行われた。「東京オリンピックマーチ」「高校三年生」などの懐かしい曲目は大好評であった。

記念撮影の後、会場を4階の大会議室に移し、宅見義平氏（高1回）の開会の言葉、柳川顧問の乾杯の発声で懇親会は開宴された。往時の学校生活の追憶に、近況生活に、しばし花を咲かせ大いに盛り上がった。和やかな雰囲気の中、校歌を斉唱し、水島義雄氏（高5回）の閉会の言葉で幕を閉じた。

同窓会会報第46号目次

表紙　題字　宮本　信義（中5回）
表紙　スケッチ「柔道部の様子」　岡村　泰成（高6回）
創立90周年記念事業報告……1
総会のご案内　本部役員名簿……2
ごあいさつ　同窓会会長　畑野公保
校長　神戸秀巳……3
平成28年度事業報告・決算報告……4
平成29年度事業計画・予算(案)
表紙スケッチ……5
醸金活動結果報告……6
青春かながわ校歌祭について……7
支部だより……8
在職中の想い出……10
寄稿（原正一　高11回）……11
広畑が丘空晴れて……12
同期会だより……14
部活動報告……15
母校2016年度進路状況……16
叙勲・春の異動・物故者など……18

創立90周年記念事業報告

平成28年10月29日秦野市文化会館にて、記念式典が県教育長をはじめ来賓の方々と同窓生も出席して、盛大に行われました。

同窓会の皆様には、ご寄付等のご協力を賜り厚く感謝申し上げます。寄付目標300万円には残念ながら達することができませんでした。

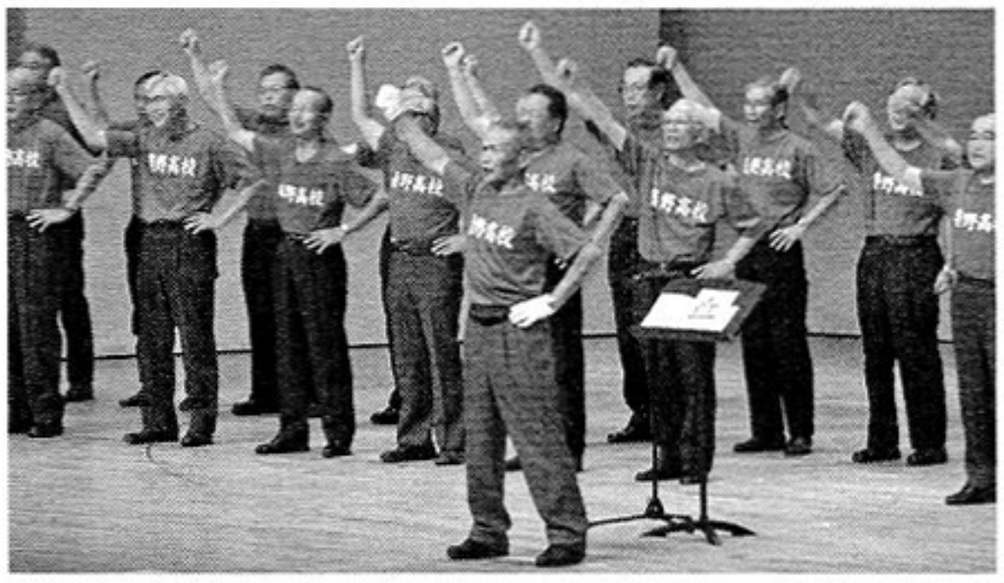
式典は一部・二部とも生徒が司会・進行を行い、畑野同窓会長・学校長のことばのあと、来賓の祝辞と進行し記念事業(体育館の袖幕ほか)の披露がなされ、生徒代表の「国家百年の計は教育にあり」のスピーチには感動を致しました。その後全員で校歌の斉唱をし一部を閉会しました。

第二部の発表会は、同窓会の校歌、応援歌ほかで始まり吹奏楽部、チアリーディング部等の部活動が90周年の歴史とともに、をテーマにした発表で会場は盛り上がり感動する式典となりました。

展示室では、同窓会のスペースに、資料室にある懐かしい資料や写真等展示しました。

祝賀会は、同日秦野商工会議所一階にて、PTA副会長の司会で実施されました。

参加された小幡佳代子(高42回)さんの言葉をいただき、三遊亭遊吉(本名能條正美)(高29回)さんの小噺で場がなごんだあと、式典二部の発表会の録画の流れるなか、歓談を楽しみ親交が深まり、学校(教職員)、PTA、同窓会が和気あいあいと更に一体感の強くなったところで、祝賀会の参加者が全員で校歌を歌い、歓談を惜しみながらも閉会となりました。



総会へのお誘い

同窓会長　畑野公保

平成29年度総会は、伊勢原市民文化会館で伊勢原支部の皆様に設営していただきました。会員各位のご参加をお願いします。

総　会　日　程

総会日程

A.M.10：00　受　付

10：30　総　会

- 28年度事業報告及び決算報告
- 29年度事業計画及び予算審議
- その他

＊ 総会終了　懇親会

会費5,000円（当日納入）

- アトラクション（予定）

会場へのご案内

バス：●小田急線伊勢原駅南口4番乗り場
東海大学病院行「伊勢原市役所北口」下車　9時25分発　9時55分発

●小田急線伊勢原駅北口2番乗り場　東海大学病院経由愛甲石田駅行
「伊勢原市役所北口」下車　9時10分発　9時50分発

徒歩：小田急線伊勢原駅から約10分

平成29年度 秦野高等学校同窓会

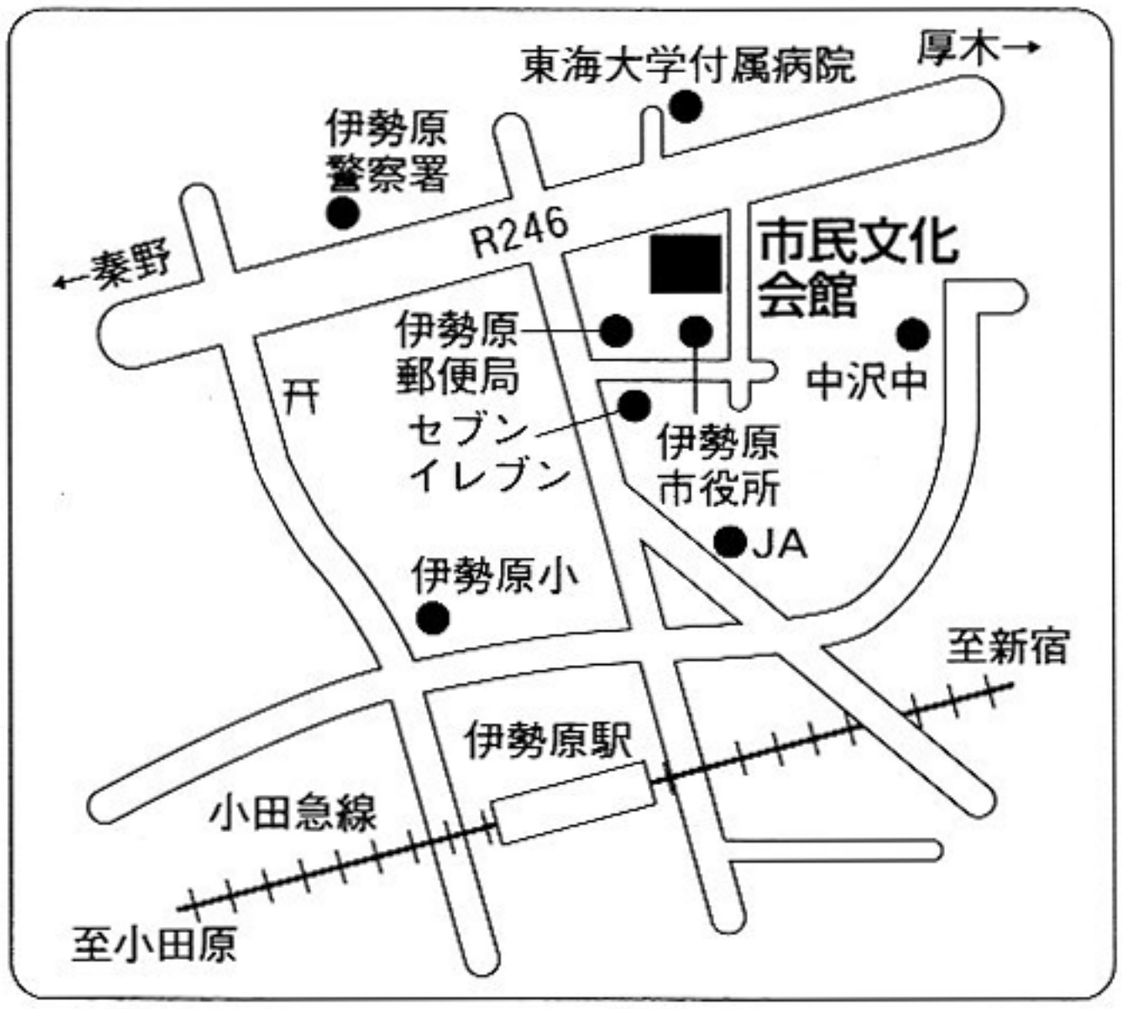
～総会のご案内～

日　時　6月24日(土)

場　所　伊勢原市民文化会館

伊勢原市田中348

ＴＥＬ（0463）92－2300



県立秦野高等学校同窓会本部役員名簿

【顧　　問】	柳川	一朗	（高１）	秦　野			
【会　　長】	畑野	公保	（高７）	伊勢原			
【副 会 長】	古木	文一	（高10）	秦　野	苅籠	光男	（高16） 伊勢原
	関	恒久	（高19）	平　塚	石田	邦雄	（高７） 小田原
	長沢	孝治	（高13）	東　京			
【支 部 長】	桐山	昌幸	（高15）	秦　野	相原	彰	（高15） 伊勢原
	出縄	高昭	（高19）	平　塚	柏木	勝	（高９） 小田原
	川口	英夫	（高６）	南足柄	飯尾	美甫	（高８） 東　京
【会　　計】	能條	剛	（高17）	伊勢原	谷	富雄	（高20） 秦　野
【会計監査】	今井	勝重	（高29）	伊勢原	飯田	重明	（高16） 平　塚
【校内幹事】	山口	夏穂		相原　芳夫（高23）		河野　治行（高29）	
【事 務 局】	〈局長〉田中信一（高18）伊勢原						
	〈書記〉瀬戸紀彰（高44）伊勢原						
	木村菜花（高57）秦　野						

創立90周年記念を終えて

同窓会会長　畑野公保

新緑の大山、丹沢連峰から心地よい風が吹いてくる季節となりました。同窓会の皆様には、ご健勝にてご活躍のことと推察致します。

さて、昨年10月29日に秦野市文化会館にて創立90周年（草創130周年）記念大会が盛大に開催されました。記念式典には県教育委員会をはじめ、内外から多数の皆様方のご臨席を頂き、在校諸君と共に総勢1、100名余りが集い、記念大会にふさわしい雰囲気で挙行されました。また本年3月2日には第69回卒業式が行われ354名の卒業生諸君が同窓会（広陵会）に新会員として入会致しました。これは日頃の先生方の熱いご指導と保護者のご理解とご協力の賜物と深く感謝致しております。秦高生の礼儀正しい明るい元気な姿に接するたびに、本校のモットーである文武両道・質実剛健の精神が、次世代に受け継がれて行くことを強く願っております。同窓会の本分は生徒達に寄り添って、できうる限り協力をして行くことだと思っております。

校歌祭、創立90周年（草創130周年）と二大行事も無事終了致しました。その都度、同窓会の皆様方には多大のご支援ご協力を頂きましたことを改めて御礼申し上げます。本校も早や創立100周年に向かって、第一歩を踏み出しました。これからも皆様方のご指導ご鞭撻を支えに、同窓会役員一同万全を期して、望みたいと思ってます。何卒、今後とも宜しくお願い致しますと共に、同窓会諸氏のご健勝とご多幸を祈りつつ、ご報告とご挨拶に代えさせていただきます。

全国から世界のステージへ
大きく羽ばたく秦野高校

校長　神戸秀巳

秦野高校4年目となりました。よろしくお願いします。

「創立90周年記念事業」での絶大なるご協力に対し、心より感謝を申しあげます。学校・同窓会・PTAが一体となり事業を進めたことで、「前のめり」な秦野高校の姿勢がより鮮明となりました。

記念式典で、『良き伝統を引き継ぐだけでなく、全国や世界の動向を見据え、未来を担い支える人間を育成するため、不易と流行を踏まえた教育を着実に実践しつつ、「新たな伝統づくり」に引き続き取り組む』と宣言しました。

今年4月から「プレ百周事業」に取りかかっていま「あるべき姿」「夢」「理想を全体で共有しつつ、『全国ら世界のステージへ　大き羽ばたく秦野高校』をキャチフレーズに、高い視点・い視野・深い洞察力をもって、「あたりまえのことがあたまえにできる人間」だけでく、「何をするべきかを自ら頭で考え、心で感じ、自ら責任で判断し、自分の言葉表現し、積極果敢に挑戦し、自ら人生を切り拓いていく人間」を真摯に育てるため、未来志向の良質な教育を実践してまいります。

「文武両道」「質実剛健」の伝統に加え、「国際交流の推進と活性化」「全国の高校とのネットワークづくりの推進」「生徒の主体的活動に向けた学校・同窓会・PTA・地域との連携」「部活動の活性化と全国との活動交流の促進」の、新たな4つの「柱」に取り組んでまいります。

私たちの前にいる生徒は「未来」です。「ダメなものはダメ」と矜持を保ち、「誰のため？」「何のため？」と問い続け、「時代の流れだから仕方ない」とあきらめることなく、「人を育て」「社会を育て」「未来を育てる」学校づくりを進めます。引き続き皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

平成28年度決算報告書

◎収入の部

自　平成28年４月１日
至　平成29年３月31日

項　　目	28年度予算額	28年度決算額	増　　減	摘　　要
前期繰越金	3,918,349	3,918,349	0	
終身会費	3,600,000	3,807,920	207,920	新会員354名、既卒会員27名
預金利息	5,000	3,369	△1,631	預金利息
雑 収 入	90,000	80,000	10,000	広陵広告協力金
合　　計	7,613,349	7,809,638	196,289	

◎支出の部

△印は減額

項　　目	28年度予算額	28年度決算額	増　減	摘　　要
会議費	295,000	291,280	△3,720	
総会費	225,000	225,000	0	総会開催諸経費（秦野支部）
役員会議費	70,000	66,280	△3,720	飲物代（役員会、常任幹事会）等
事業費	3,460,000	3,496,899	36,899	
支部育成費	240,000	240,000	0	6支部
同期会育成費	60,000	30,000	△30,000	1同期会に10,000円助成
在校生活動振興費	700,000	730,216	30,216	部活動・教育活動支援
会報発行費	2,100,000	2,133,384	33,384	広陵発行（編集費、印刷、発送料）
校歌祭参加費	285,000	285,325	325	参加代、バス代、飲物代、会議交通費
ホームページ運営費	75,000	77,974	2,974	ホームページ運営費
慶弔費	50,000	0	△50,000	
事務費	115,000	110,703	△4,297	
事務局費	80,000	83,659	3,659	事務消耗品代等
通信費	15,000	18,524	3,524	郵送代（切手・葉書）
印刷費	20,000	8,520	△11,480	会議資料代、コピー代
予備費	3,693,349	3,910,756	217,407	
合　　計	7,613,349	7,809,638	196,289	

同窓会積立金残高	31,500,000円

平成28年度秦野高等学校同窓会の会計収支決算について、関係帳簿及び書類等を審査した結果、正確・公正に処理されていることを認めます。

平成29年４月５日

会計監査　　飯田　重明
会計監査　　今井　勝重

左記のとおり報告します。

平成29年４月５日

会長　畑野　公保
会計　能條　　剛
会計　谷　　富雄

平成28年度事業報告

1　総　会

● ６月19日（日）
秦野商工会議所

2　役員会

● ４月６日　会計監査
● ７月24日　本部役員会
● ８月22日　本部役員会
● ９月９日　本部役員会
● 12月３日　本部役員会
● １月28日　本部役員会
● ３月４日　本部役員会

3　常任幹事会

● ４月17日　常任幹事会

4　会報「広陵」45号発行・配布

5　支部育成　６支部に活動費を助成

6　同期会支援　４同期会に祝金贈呈

7　第11回青春かながわ校歌祭に参加
期日　10月15日
会場　秦野市文化会館
参加者　同窓会員･生徒･先生
合唱曲目　校歌・第一応援歌：
第二応援歌

8　第31回秦野伊勢原地区同窓会連絡協議会に参加　期日７月23日
会場　こみや
参加校　伊勢原・伊志田・秦野・秦野曽屋・秦野総合
同窓会役員・校長　37名参加
各校同窓会の現状報告及び情報交換

9　学校創立90周年記念事業

10　在校生への活動支援

平成29年度予算(案)

◎収入の部

自　平成29年４月１日
至　平成30年３月31日

項　　目	28年度決算額	29年度予算額	増　　減	摘　　要
前期繰越金	3,918,349	3,910,756	△7,593	
終身会費	3,807,920	3,700,000	△107,920	新会員50名、既存会員20名（手数料除く）
預金利息	3,369	3,000	△369	
雑 収 入	80,000	80,000	0	
合　　計	7,809,638	7,693,756	△115,882	

◎支出の部

△印は減額

項　　目	28年度決算額	29年度予算額	増　　減	摘　　要
会議費	291,280	295,000	3,720	
総会費	225,000	225,000	0	総会開催諸経費（伊勢原支部担当）
役員会議費	66,280	70,000	3,720	飲物代（役員会、常任幹事会）等
事業費	3,496,899	3,435,000	△61,899	
支部育成費	240,000	240,000	0	6支部
同期会育成費	30,000	50,000	20,000	1同期会に10,000円助成（6同期会）
在校生活動振興費	730,216	700,000	△30,216	部活動・教育活動支援
会報発行費	2,133,384	2,120,000	△13,384	広陵発行（編集費、印刷、発送料）
校歌祭参加費	285,325	250,000	△35,325	大会参加費、会議交通費、飲物代
ホームページ運営費	77,974	75,000	△2,974	ホームページ運営費等
慶弔費	0	40,000	40,000	
事務費	110,703	115,000	4,297	
事務局費	83,659	85,000	1,341	事務消耗品代等
通信費	18,524	18,000	△524	郵送代（切手・葉書）
印刷費	8,520	12,000	3,480	会議資料代、コピー代
予備費	3,910,756	3,808,756	△102,000	
合　　計	7,809,638	7,693,756	△115,882	

平成29年度事業計画(案)

1　総会・幹事会・役員会・
　　各種委員会の開催

2　会報「広陵」第46号の発行・
　　配布、ホームページ管理・運営

3　第12回「青春かながわ校歌祭」
　　に参加
　　平成29年９月30日(土)
　　厚木市文化会館
　　練習日　８月19日(土)
　　９月９日(土)
　　９月16日(土)
　　いずれもAM10～正午
　　場　所　秦野高校視聴覚室
　　（予定）

4　支部育成と同期会支援

5　在校生への活動支援
　　部活動助成・全国大会等への
　　出場支援

6　秦野・伊勢原地区同窓会
　　連絡協議会への参加

同窓会積立金残高	31,500,000円

表紙スケッチ

柔道部の様子

岡村泰成（高6回）

戦後学校教育の柔道がGHQにより規制されていたが、昭和25年緩和され、翌年春より秦高も柔道部が復活、当時はまだ旧制中学の先輩も在籍し、彼らを含め30名強の部員で再発足。道場は壁が板張りで40畳程の教室に新しい青畳が敷かれ、国学院出身の白井先生（歴史担当）に加えて渋谷先生のもと部活が始まる。

当時食糧難で弁当だけでは足りないお腹を購買のジャム付きコッペパンを買って、練習のパワーにしていた。

＊

昭和29年卒業、東京藝術大学工芸科VD専攻卒、日本美術家連盟会員、MossSpirits代表。

創立90周年記念事業醵金者名簿

平成28年3月13日～
平成29年2月28日

醵金者数　86名

醵金額　502、000円

○中17柳川三郎　○高9府川道明
中18安居院恵龍　高9山口隅造
○中19馬鳥　巧　高11小沢　満
中19村沢光彦　○高11陶山周保
◎中20高山智博　高11原　正一
中20早野　博　高11山田昌二
中21今井利久　高12細川欣勇
併1川合真一　高13佐藤敬三
高4生野隆由　○高13髙橋芳照
高4清田宰宏　高14安居院輝雄
高4原　由夫　○高14越水　清
○高5小林　充　高14鈴木　勲
高5山口光弥　高14古谷祐一
高7石田邦雄　◎高14山口久司
高7中村正賢　高15加藤秀雄
○高8青木　薫　高15重田武男
高8熊沢正勝　高16飯田重明
高9秋元松江　◎高16大木伸男
高9込山英雄　◎高16苅籠光男
高16小室修二　○高29山口　修
高16鳥海増雄　高29山下浩一
高17高梨佳子　高30安本麻美
高17能條　剛　高31井上宰子
高17甲田敏雄　○高33石橋明子
高17山口徳造　高36山田浩之
高18榎本芳男　高37萩原鉄也
高18田中信一　高40加賀美猛
高19秋山美門　高40志間正和
高19大木幸男　高41佐藤尚子
高19原　克久　高42志間佳代
高20飯田　保　高44足立元紀
高20関野徳雄　高45宮本千晶
高20谷　富雄　高47足立友紀
高21古谷宗芳　高48宮本和宏
高21宮本　昇　高49野尻彰彦
高22小早川規好　高51足立進也
高23相田敏夫　高65平山　亮
高23小山宜忍　◎高66仲西あゆみ
高24菅間清光　【旧職員】
高25山口　勝　井上隆之
高27小島俊英　岩本満敏
高27山口善文　山本修平
高28栗原敏明　【その他】
高29朝倉恒樹　広畑会一同

お詫び（45号掲載分）

訂正

高2佐藤俊輔→高2佐藤峻輔
高16岩田俊一→中16岩田俊一
高17松本悦雄→○中17松本悦雄
○高65菅谷奈央
○高17府川和也
○印は重複提供者（2回19名）
◎印は重複提供者（3回5名）

総合計

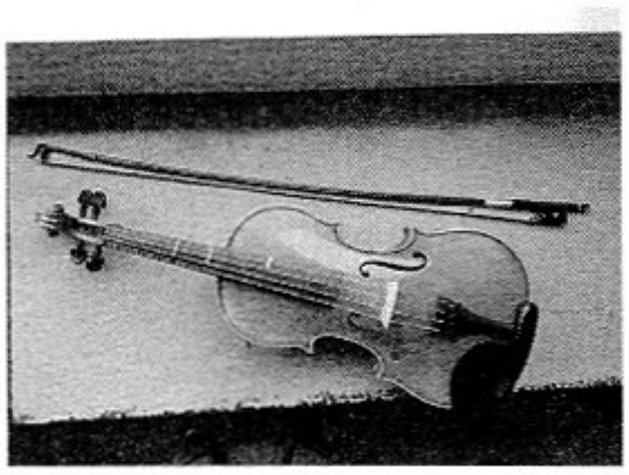
平成27年4月13日～平成29年3月31日

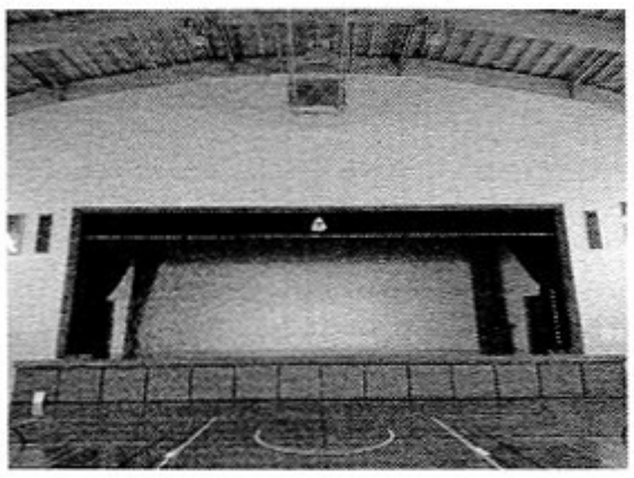
総醵金額　2,918,000円

醵金者総数　427名

～同窓会会計報告から～

＊醵金者の皆様、誠にありがとうございました。

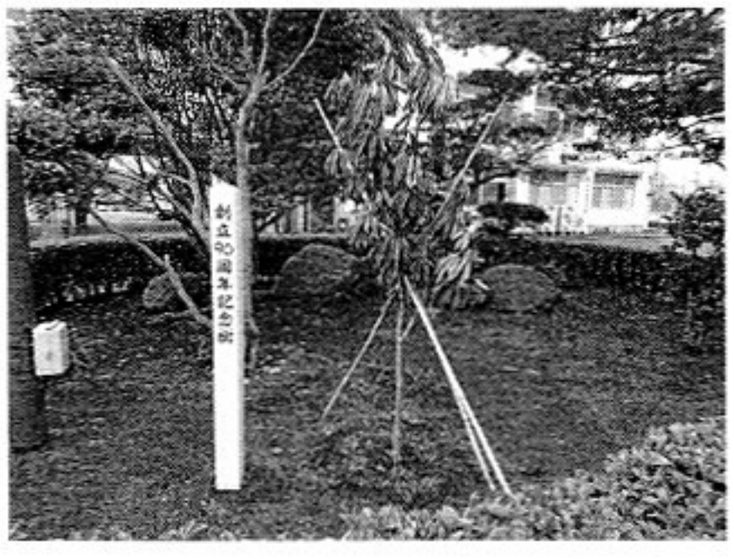




創立90周年記念事業

目録

1、体育館袖幕
2、散水台車（移動式）2台
3、ガット用ストリングマシーン　1機
4、バイオリン　1台
5、視聴覚室設備　1式
6、情報機器　1式
7、記念植樹（ユズリハ）



今年の青春校歌祭は厚木が会場

青春かながわ校歌祭実行委員長　福田三郎（高13回）

第11回目の「青春かながわ校歌祭」は、横浜市の県立青少年センターで10月15日に開催された。実行委員会は秦野市文化会館で開催された第10回大会の大盛会の勢いを引き継ぎ、百人以上の出演者で臨むべく5月から準備した。

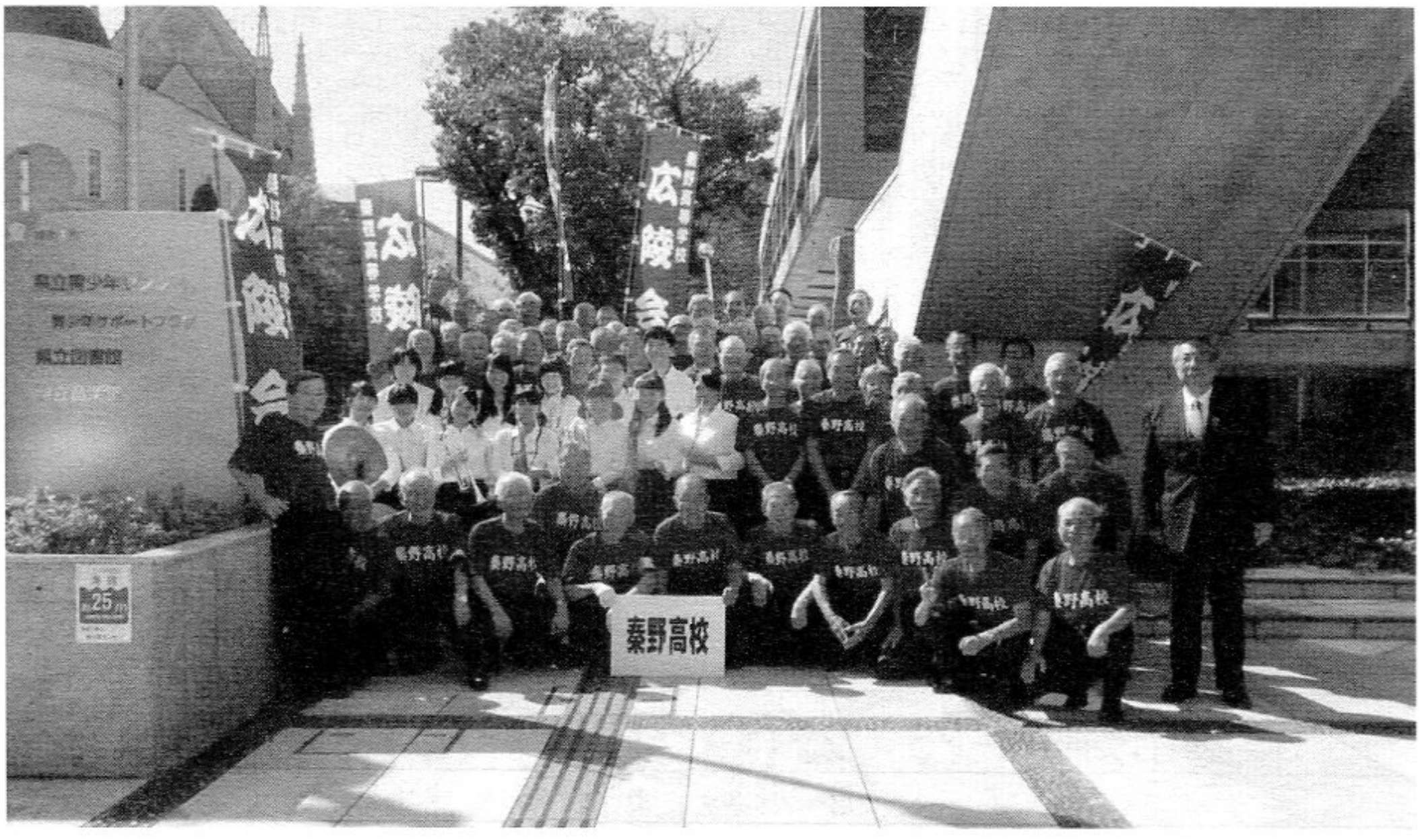
夏休み中からの3回の練習日の様子を見て、バス2台を仕立てる参加態勢を決めた。予算上の心配をしながら参加者を募り、秦野支部の積極的な取組みも得て、当日は87名が大舞台に立った。第一、第二応援歌と校歌を精一杯歌い上げ、秦高広陵会の伝統の力を発揮することができた。

折しも秦高創立90周年の記念諸行事の準備が校歌祭と並行して進行していた。小生は記念祝賀式典の発表会部門の実行委員を兼任していたので、同窓会として発表会に出演することを提案し、プログラムのトップバッターに決まった。かねてから校歌祭関係者の母校に寄せる思いを、現役高校生にも披露するよい機会となった。

発表コンセプトは秦高90年の歴史の前半、昭和20年頃までの世相を音楽で表現することであった。校歌と同時期に作られた「丘を越えて」と、戦後抑留地で強い望郷の思いを歌った「異国の丘」等を校歌、応援歌に加えて熱唱した。歌い始めると客席の在校生にとっては、なじみの薄い曲目であったと思うが、ステージの我々に手拍子の応援を送ってくれた。まさに秦高生が世代を超えて一体化した時間であった。校歌祭に出演することの副産物といえるこのサプライズは、我々に大きな感動をもたらせてくれた。

さて今年度の第12回目の校歌祭は、厚木市文化会館で開催される。本番は百名以上で参加したいものだ。初参加の仲間を待つ。

●開催日・会場
平成29年9月30日(土)
厚木市文化会館
●練習日（土曜日）
8月19日・9月9日・9月16日
いずれも時間は午前10時～正午
●場所　秦野高校視聴覚教室（予定）



支部だより

秦野支部

山口徳造（高17回）

秦野支部は、支部の本部役員として、支部長・副支部長2人・事務局2人・会計の6人で構成されています。主な活動は、市内を六地区（本町・南・東・北・大根・西）に分け、地区長と2人の副地区長の協力を得て展開しています。

支部全体の共通事項としては、支部総会・「広陵」と支部だよりの配布・総会への出席・視察研修会・高校野球の応援・校歌祭に向けての練習と当日の出演、その他たびたび支部本部会と地区長会を本町公民館で開催しています。

今後の課題の1つ目は終身会費未納者への働きかけですが、目下会長名の依頼状は用意してあります。

2つ目として昨年の総会は秦野支部の担当でしたので、その後反省会をもち、その席で「支部の活動をより活性化させる手立てのひとつとして、サークル作りをしたらどうか」と提案したところ、早速ゴルフ愛好家が20人集まり、市内のゴルフ場で第1回のコンペを5月に、第2回は秋に開催する予定です。

伊勢原支部

今井勝重（高29回）

伊勢原支部は平成28年4月23日に、年度総会を開催しました。当日は支部役員を中心に17名の参加者で、前年度活動報告と決算報告並びに当該年度活動計画と予算案を審議し、会員の賛成をもって了承されました。

平成28年度事業としては、本部総会、青春かながわ校歌祭への参加を支部として行いました。

また学校創立90周年事業に伴うペナントの販売について、支部内の各地区、職域に協力を依頼し、割当て枚数の完売に努めました。

本部での協議事項となっている「今後の支部のあり方と支部育成について」は、総会の事項と平塚支部からの支部の運営状況や出向役員を報告する内容であった。

以上のように伊勢原支部の活動は、例年どおりといったような活動ができるよう工夫をしていきたいと考えていますので、支部会員の皆様のご協力をお願いします。

今年度の本部総会がご案内のとおり伊勢原支部で開催されます。皆様のご参加を心よりお待ちしています。

平塚支部

出縄高昭（高19回）

平成28年5月10日付で、支部総会に準じた文書を支部役員に送付し、書面総会としました内容は第10回青春かながわ校歌祭の開催結果報告、本部同窓会への出席依頼、創立90周年記念ペナントの作成販売、90周年醵金依頼等の本部関係の事項と平塚支部からの支部の運営状況や出向役員を報告する内容であった。

創立90周年記念事業のひとつであるペナントの販売は、当初の割当販売数にわずかに届かなかったが、多くの支部員の協力をいただき、それなりの成果を収められたものと思っている。また創立90周年記念事業実行委員会による10月29日の創立90周年記念式典と懇親会に多くの支部員が参加し、卒業生と旧交をあたた

各種宴会・商談にご利用ください。
割烹 やなぎ家
秦野市寿町1-26 ☎(0463) 81-2288
ホームページ http://www.yanagiya-hadano.com

め、在校生とは親交を深めた。
さて平塚支部では支部員の高齢化に伴い、それにふさわしい支部運営を模索している。その時代時代に合った支部運営とは何かをもう一度考え、卒業生が続々と入って来る平塚支部に育てていきたい。今年は5月頃に平塚駅付近の居酒屋で盃を傾けながら、情報交換会を兼ねた総会を計画している。

小田原支部

柏木　勝（高9回）

当支部は率直に言って存続の危機にある。4年毎に当支部に廻って来る本部の総会を無事に務め上げれば、役員交代を恒例としてきたが、今回は引き継ぐための最低人員が不足していて、現役員が継続せざるを得ない状況にある。現役員も高齢のためもあってか、腰痛、胃癌、親の介護、奥様の介護、逝去等の故障者続出で、役員の立場も維持できず、動ける役員が孤軍奮闘の状況にある。
今までに支部を組織化してから9回の支部総会を開催してきている。その都度参加を呼び掛けてきたが、高齢化と共に年々参加者が減る一方で、呼び掛けの範囲も足柄上郡にも拡大しても期待するほどの人数が集まらなかった。そういう訳で他支部の同級生に応援を呼び掛けて参加いただき、辛うじて総会を維持している状況である。
今までの総会の参加者に出身地を尋ねると、ほとんどの方が秦野、伊勢原、平塚のいずれかである。そのような中で組織化の維持は困難かもしれない。それでも10回目の総会に向けて、あきずに参加を呼び掛ける積もりである。

南足柄支部

川口英夫（高6回）

南足柄支部の総会は、毎年6月の第1土曜日か日曜日に行うことになっている。
総会は、通常の活動報告、会計報告などを行った後、支部のどなたかが、40ないし50分程度講演を行うことになっている。講演内容については特に制限はなく、各自の趣味、これまでの仕事の話、体験、などなどである。
これまでに行われた講演を拾うと「介護について―各種ホームの設備や介護内容など」「銀行の業務と金融について」「街道歩く―矢倉沢往還（ビデオ）」などである。
総会の後の懇親会ではこれらの話をもとに、さらに話に花が咲く。
会員は多士済々であり、講演内容は、いろいろな分野に渡る。同窓会の魅力の一つは多岐に渡る分野の人と出会い、利害に関係せず話し合えることでもあろう。
今年は今時点（3月中旬）では、まだ講師は決まっていないが、興味ある話が聞けるのではないかと期待している。

東京支部

長沢孝治（高13回）

東京近郊にお住いのOBの皆様へ。
東京支部会員は高齢化に伴い、活動が思うようにできていません。我と思う方は、長沢までご連絡ください。
電話・FAX03―3952―7784

地域の健康を願って　SINCE1905
佐野十全堂薬局
〒257-0035　神奈川県秦野市本町2-5-6
代表電話（0463）81-0031

在職中の想い出

秦高での3・11

原　救夫（数学）
（平成19年～平成29年）

平成19年4月に秦野高校着任から、10年間勤めさせていただきました。その間、多くの先生方やＰＴＡ・同窓会の皆様に大変お世話になり、心から感謝申し上げます。在職中は、真面目で、元気な秦高の生徒から元気と多くの感動をいただきました。

さて、思い出に残る一つは、平成23年3月11日の東日本大震災の体験です。当日の3時頃、職員会議が行われていましたが、大きな地震の揺れが起こり、職員会議は中断、直ちに、生徒達の安全確認と校舎の内外の点検を行い、学校にいた生徒を下校させることとしましたが、下校できない50数名が学校で待機・宿泊となりました。この後の学校の対応は創立90周年記念誌で紹介されています。震災の状況がニュースで刻々と伝わり、交通機関復旧の目途が立たない中で、生徒たちは、落ち着いて行動していました。次の日、交通機関の復旧に伴って生徒を下校させましたが、最後の生徒の帰宅を確認できたのが、午前11時頃でした。緊急時の連絡として前年から導入された生徒・保護者向けメール配信が大変役立ちました。震災後は電力不足で計画停電が行われました。そのため、合格者説明会は行わず、入学時に必要な書類等は、メール便で送りましたが、4月の入学式は滞りなく実施されました。東日本大震災から6年過ぎましたが常に震災に備えること、そしてどんな時でも元気で頑張れる秦高生を実感した次第です。

前田夕暮との出会い

山本博之（保健体育）
（平成19年～平成29年）

私事ですが30年前の結婚式に主賓で前々任校の教頭先生が夕暮の短歌「木に花咲き君わが妻とならむ日の四月なか」を詠んなか遠くもあるかな」を詠んでくれました。この歌は線路向こうの夕暮生誕地碑に唯一刻まれていることを最近になって知りました。10年前に秦高に赴任した時は、家内が当時の大秦野高校最後の年に臨任でお世話になり、長女が東海大学に入学して秦高近くで寮生活に入り、相模原市から家族みんなが波のように秦野に押し寄せ、お世話になるとつく世の中を変え、日本の共にとても思い出深い10年間を送ることができました。何かとても強い縁を感じました。初年度共にした永田雅嗣郎先生から男子バスケットボール部の顧問を引き継ぎ、多くの体験をさせていただきました。部員には多くの大会に連れていってもらい感謝しています。数えきれない程の指導者や選手と出会い、現在もつながりを持ち、学ばさせていただいています。

この10年間で気付いたことは、授業や部活は結果を求めるためのものではなく、「人」本の未来である子どもたちを育てるためのツールであるということです。世界がこだけ激動する中、求められる人材は、行動力、判断力、ミュニケーション能力を持つリーダーです。秦野高校はこのような人材を育て上げるべきです。既得権益にしがめに必要な教育の実践を期すると共に、今後も同窓会温かく力強いバックアップをお願いいたします。

土地活用のご相談は
株式会社 島　半
本　　社：神奈川県秦野市鈴張町5-30　☎(0463)82-2211
東京支店：東京都港区南青山2-2-15-540　☎(03)6447-1925
ホームページ　http://shimahan.co.jp/

寄稿　野球部父母会も今年25周年

原　正一（高11回）（高45回保護者）
小沢喜代子（高45回保護者）

準々決勝で前年度全国制覇の桐蔭学園との延長18回引き分け再試合を勝利し、その後横浜一商（現・横浜商大高）を破って進出した東海大相模との決勝で、惜しくも敗れたあの夏。

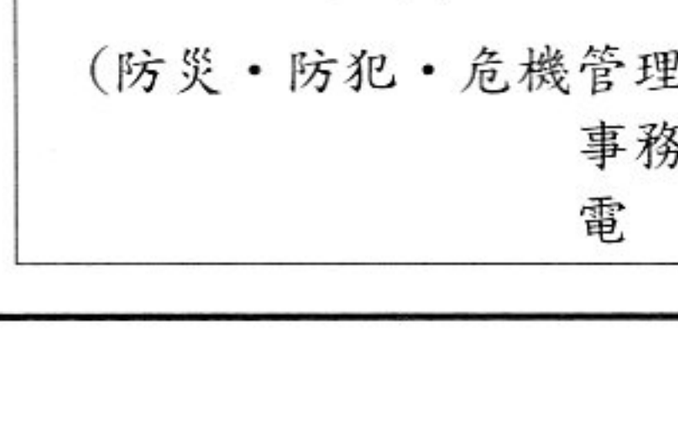
秦野高校野球部が昭和47年夏の神奈川県大会で準優勝したのを記憶されている方はもう少数派となってしまったのではないか。

※

長年、秦野高校野球部は常に公立の雄として県大会のトップクラスに君臨してきた。私たちの子どもが3年生の平成4年健闘むなしく、その年優勝した桐蔭学園高校に惜しくも4対5で敗れてベスト16に終わったが、県下200を超える高校の中でベスト16に入るというのは、一県立高校としては快挙と言ってもいい成績だ。その年の夏は燃えた。選手はもちろん親たちも一丸となって甲子園という夢に向かって突っ走っていた。

子どもたちの卒業後、始まった父母OB・OG会は、早や24年を経過した。24回目の会は、昨年11月25日、57年ぶりといわれる11月の初雪をみた翌日の晴天の秋空の下、久し振りに開会時間を夜から昼に変更し、秦野の「一の屋」で開催した。あの日の少年たちは43歳となり、それぞれ様々な人生を歩んでいる。親たちの方は、年齢も職業も今置かれている境遇もいろいろだ。けれど、あの夏の日、ともに燃えた思い出だけは共通するもの。それは、子どもたちの、修学旅行を断念して秋季大会に臨んだことや、親たちの、一試合一試合仕事を放り出して県内の野球場に集まり熱い声援を送ったこと、夢中で新聞4紙の切り抜きを集めて子どもたちの栄光を小冊子にまとめたこと。そんな思い出を話題にし、またその後の秦高野球部に期待のエールを送りながら、自らの健康や近況、夢などを語り合う父母たちの集まりに、思えば永く続いたものだと感慨を覚える。発足当時はたった4人の母親たちだけの参加だったが、今は毎年、10人ほどの親が集まる。時にはあの準優勝した当時の選手から子どもたちの監督となられた佐藤秀夫さんをお迎えして当時のご苦労などを聞かせていただいたこともあった。

この会も今年は25周年を迎える。子どもたちの方はドイで、卒業後、少しも野球の同期会など開いていないようだが、親たちは子どもをじての友情を温め合っていて全員が元気で末永くこの会続いてほしいものだ。来年記念の年には子どもたちも席できるといいのに…などと叶いもしない夢を見つつ、会の一本締めにも熱が籠るまた会いましょうと振る手晩秋の風が冷たい。



湘南減災科学研究所
危機管理アドバイザー　出縄高昭（高19回）
（防災・防犯・危機管理対策を官公庁、会社、病院、学校、自治会等で講話）
事務所　〒254-0901 平塚市纏340-3
電　話　080－5175－4146

広畑が丘 空晴れて
秦中・秦高に想う

広畑が丘の我らが恩師

青木 薫（高8回）

私は農家の長男として生まれながら両親の意向にも背きあえて秦野高校に入学した。

その結果、卒業迄の3年間百花繚乱（？）の先生方の薫陶により、今にして思えば真に楽しい高校生活であった。

学級担当は1年が沼田先生、2年が白井先生、3年では岸先生で何かと面倒を見ていただいた。3年生の時には私の卒業後のことで担任以外の多くの先生に親身になって面倒をみていただき、私にとっては今尚忘れ難き思い出である。

勿論、国社数理英に体育等それぞれの先生から専門教科を丁寧に教えていただき、ユーモアのある話や厳しい指導も含め、私たちはその人柄を楽しみつつ勉強に励んだもの（？）であった。

その教科の中で中学の時から英語が全く判らず本当に困った。ところが幸いにも今井先生から英語の基礎、基本を判り易く教えていただき、1年から2年を経て3年になると1学期には10段階の8、2学期には9／10（？）と成績が向上した。秦高で私が学んだことは英語はこうすればものになると言う道筋を教えて貰ったことである。参考までに「英語教育原論」明石書店版を書き添えて置きます。

夢を育む

佐草恭造（高18回）

私は、広畑が丘で、学んだ三年間の高校生活で自分の進むべき路を方向付けることが出来ました。素晴らしい先生方と多くの仲間と毎日眺めていた大山・丹沢の山々から将来は教職を目指そうという夢を持つことができました。この夢を実現するためには、教職課程のある大学に入学しなければならない。どうせ受検するなら神奈川県にある教員養成の国立大学である横浜国立大学に挑戦しようと思うようになりました。

この頃の秦野高校の生徒は意気盛んで、有名国立大学を制覇しようという雰囲気が溢れていました。「為せば成る…」の意気込みで挑戦したものでした。

「夢を育む」環境づくりは他人が整えてくれるものではなく、自分たちで「努力」して整えて行くものではないでしょうか。

私は、これからの人生についても「夢を持ち、育み、実現」するために挑戦をして行きたいと思っております。

大正浪漫

小桧山茂雄（高47回）

高校時代は部活動、勉学共に充実した日々を過ごしていたと記憶しています。今改めて秦野高校の教育目標を眺めると今の自分とリンクしている事が多くあります。特に平成28年度の校長が「目指す姿」は環境こそ違いますが、私の「目指す姿」そのもののように思えました。大正15年に開校と言うのも縁があったのか

平成29年7月1日新築移転予定
社会福祉法人恩賜財団済生会湘南平塚病院
事務部長 土屋克巳（高28回）
〒254-0036 神奈川県平塚市宮松町18番1号
社会福祉法人恩賜財団済生会湘南苑
事務長 土屋克巳（高28回）
〒254-0046 神奈川県平塚市立野町37-1
電話(0463)31-0520㈹ FAX(0463)31-3177

なあと勝手に思っています。
そんな私は平成28年4月22日に大正浪漫をコンセプトとした店舗を開きました。
「秦野には浪漫がある。浪漫を創る人がいる。」をキーワードに1階は飲食店、2階はコワーキングスペース、会議室のある複合施設です。施設の名前は「ハダノ浪漫」、秦野が好き、秦野を元気にしたいと思っている人たちが自然に集まる場所です。1階「ハダノ浪漫食堂」では秦野名水を使った美味しい料理とお酒を囲み、その人たちが繋がり易い空間を作り、2階「ハダノ浪漫会館」は〝飲みニケーション〟で生まれたアイディアを具体化する場所として使ったり、起業を目指す方が集まるワーキングスペースに利用したりできます。このハダノ浪漫が創始、創業の地として貢献できればと思います。

「少年易老学難成 一寸光陰不可軽 未覚池塘春草夢 階前梧葉已秋声」

佐野友保（高18回）

漢詩を学んだのは、秦野高校に通った3年間でした。何か私が国文に造詣があるように思われますが、私は中学、高校と国語という授業が大の苦手でしたが、この漢詩を教えていただいたのは既に故人ですが栗原元彦先生です。
先生の父上と私の父が懇意でした関係で、国語の不出来を私の父が栗原先生の父上に訴えたのが縁で、確か廊下で先生に声をかけられ「明日の日曜日に神社に来るように」と言われ神社にお伺いしました。神社の境内は昨夜の強風にて竹箒で掃いているではありませんか、言葉をかけずに居られず「先生手伝いましょう」と言って額に汗が出るほど広い境内を清掃し、その後、縁台にて先生と一緒にお茶とお菓子を御馳走になりました。先生が「一言君の親父さんが心配していたがまあ、漢文、古文ができなくても薬科大学の進学に問題ないがね」とお説教を言われるのかと思いました。「まあ、たまには神社に遊びに来なさい」と言われ、ある時「偶成」という南宋の大家、朱熹の詩を教えて下さいました。高校3年間、漢文、古文はほとんど私の記憶には残っていませんが、この詩は私が人生の中で壁にぶつかった時や投げやりな気持ちになった時、亡き恩師から学んだ一つの言葉が自分の励みになったようです。
広畑が丘の思い出をと、はたと考えた時、ふとこの詩を想い出しました。「少年老い易く学成り難し、…階前の梧葉すでに秋声」止める術もなく無情にも時間だけが移ろい、ただ過ぎ去って行く。今年70歳を迎える今日この頃です。

同期会への祝金 平成28年度贈呈同期会

中21回小泉誠一（22名参加）
高6回浅田忠男（25名参加）
高20回杉崎伸樹（45名参加）
同期会を開催する場合、同窓会から祝金一万円を贈呈
手続きは左記の役員に実施計画書・報告書（A4判1枚）を請求し提出すること。

●田中信一（事務局）
伊勢原市桜台1—36—12
0463—94—4564

●関　恒久（副会長）
平塚市明石町28—7
メゾン湘南302
090-2930-6961

●桐山昌幸（支部長）
秦野市戸川800
0463—75—0937

（医）柏木歯科医院
理事長　博士（歯学）　柏木　勝
診療所　小田原市本町1－1－12
☎　0120－24－2352

同期会だより

燦然と輝く一九会

小泉誠一（高2回）

戦時下の昭和19年入学の私達は昭和53年に広陵一九会を発足させました。平成28年には京浜地区が幹事となり横浜プラザホテルで第33回総会懇親会を開催。従来の運営に加味し地元の男性合唱団に登場願いあの歌この歌のコンサートに一同壮快になり健康増進に寄与しました。又一九会は活字による交流で親睦を深めています。文集「広畑が丘空晴れて」の製作に挑戦し平成20年には文集5冊目を編集しリタイヤ後の人生航路や趣味などの記述に心を踊らせて楽しい交誼です。そんな快適な同窓の友も既に日本人平均寿命を越え物故者の増大や体調不良を訴える会員も多い現実です。現在会員数90名物故者は88名です。今回33回目の総会で同窓会開催の終結を論議した結果あと3年後の米寿の期まで続けることを決議しました。その後、同窓会のない寂しさに何か対応したいと考えております。

62回目の同窓会

浅田忠男（高6回）

広畑が丘に桜の咲く頃、6期生は一堂に会して校歌を歌う、応援歌に蛮声を上げる。昭和29年3月卒業。翌年元日に第1回同窓会を開催して以来、回を重ねること62回。一年も休むことなく、よく続いたものだと驚く。

皆出席やほぼ出席が多数。だから続けられたと参加者に感謝…だと幹事の言。

会の運営は人生に通ず。独身の青年期は元日開催。会場の確保が難しくなり、徐々に2月に変更、年度末では参加できないと苦情が殺到。春だ、秋だと開催日を変更した、が結局、参加者に大きな変化なし。文句は言うが参加せずの世の中と同じだった。

今は時期も場所も固定。桜の咲く箱根湯本で校歌を歌う。終了を提案したが否決され、続行が決まった。

あと何回、元気で同窓の集いができるかを期に同窓会の楽しみである。

秦高卒業50年目の同窓会 心身の若返り

杉崎伸樹（高20回）

平成29年2月18日の、グランドホテル神奈中・秦野の9階には、男性ばかり45名の秦野高校同窓生が集まっていた。

卒業以来、50年経て仕事や家庭や健康やら、幾多の壁を乗り越えた、猛者の目元は高校の頃と同じだが、若干、頭や肉付や腹回りは、変わっていた。

記憶力はまだしっかりしている、90歳の鈴木先生を囲み今までの労苦を思い起こし、盃を交わして、歓談が止むことなく、旧交を深めた。仲間の中には、農作業も楽しむ者、経営者や地域の役員や大学教授として忙しく過ごしている者、様々だった。

昭和47年の野球決勝戦では東海大相模に及ばなかったが野球場で予期せぬ同級生との再会を楽しんだことにも盛り上がった。

既に他界した者、急用で欠席した者への思いを寄せながら、再会を確認して散会した。

平成28年度　部活動の記録

部活動名	大会名	結果
陸上競技部	県高校総体	女子3000m 7、8位
		男子1500m 8位
	県選手権大会	女子800m 7位
		少年B800m 3、8位
	県高校新人陸上大会	女子800m 5位
		女子1500m 7、10位
		女子3000m 3、12位
		男子1500m 2位
		男子5000m 1位
	関東高校駅伝	女子 13位
サッカー部	関東大会県予選	2次予選1回戦敗退
	高校総体県予選	4回戦敗退
	高校選手権県予選	一次予選ブロック優勝
		2次予選 ベスト35
	U-18K2リーグ	5位 リーグ再編につき3部へ(4部制に改編)
野球部	春季県大会	1回戦
	全国高校野球選手権大会県予選	2回戦
	秋季県大会	2回戦
	秦野市内大会優勝	優勝
ハンドボール部	関東大会県予選	男子2回戦
		女子1回戦
	高校総体県予選	男子2回戦
		女子1回戦
	県新人大会戦	男子3回戦
		女子1回戦
ソフトテニス部	関東大会県予選	男子団体 5位
		男子個人 3位
		男子個人 ベスト16
		2ペア関東大会出場
		女子団体 ベスト16
		女子個人 ベスト8
		関東大会出場ベスト32
	関東大会	男子個人5位・1回戦
		女子3回戦
	全国総体県予選	男子団体 5位
		男子個人 優勝
		男子個人 ベスト16
		女子団体 ベスト16
	全国総体	男子個人2回戦
	県選手権大会	男子ダブルス 3位
		男子シングルスベスト16
		女子個人ダブルスベスト16
	国民体育大会県予選	男子個人 5位
		女子 ベスト16
	県新人大会	男子団体 ベスト16
		男子個人 ベスト16
		女子団体 5位
	ハイスクールジャパンカップ	男子個人シングルス2回戦
		男子個人ダブルス2回戦
	第71回国民大会岩手大会神奈川県代表	松本康希
テニス部	北相地区夏期大会	男子団体 ベスト16
		男子個人シングルスベスト8
		男子個人ダブルスベスト16
		女子団体 ベスト8
水泳部	北相地区競技大会7月	男子50m自由形1位
		男子50mバタフライ6位
		男子200mリレー8位
		女子200m自由形 8位
		女子50m平泳ぎ6位
		女子100m平泳ぎ3位
		女子100m個人メドレー8位
	北相地区競技大会9月	女子50m平泳ぎ5位
		女子100m平泳ぎ3位、8位
		女子50m背泳ぎ7位
		女子200m個人メドレー5位、6位
		男子50m自由形2位
バスケットボール部	関東大会県予選	男子 ベスト16
		女子 ベスト16
	高校総体県予選	男子 ベスト16
		男子 準優勝
	新人大会西支部予選	女子 ベスト8
バレーボール部	北相地区秋季大会	男子 ベスト8
		女子 ベスト8
	北相地区冬季大会	男子 ベスト8

部活動名	大会名	結果
バレーボール部	北相地区冬季大会	女子 ベスト8
	県選手権大会	女子 2回戦敗退
バドミントン部	北相地区夏期大会	女子シングルスブロック優勝
	北相地区冬期1年生初心者大会	男子シングルスブロック優勝
	北相地区冬期大会	男子シングルスブロック3位入賞
		女子シングルスブロック優勝
卓球部	関東大会県予選	男子団体 出場
		女子団体 ベスト16
弓道部	北相地区大会	男子個人 5位
	全国選抜弓道大会県予選	個人戦 2位
	全国選抜弓道大会	出場
柔道部	関東大会県予選	男子個人 7回戦
	全国大会県予選	個人1回戦敗退
		個人60kg級2回戦敗退(伊志田・秦野合同チーム)
	国体県予選	個人先鋒の部1回戦敗退
剣道部	関東大会県予選	男子個人戦 6位
		男子団体戦6回戦ベスト16
		女子団体戦4回戦ベスト16
	全国大会県予選	男子個人戦5回戦
		男子団体戦5回戦ベスト16
		女子団体戦4回戦ベスト16
	県新人戦	女子個人戦6回戦ベスト16
	全国選抜大会県予選	男子団体戦5回戦ベスト16
		女子団体戦4回戦ベスト16
	北相地区大会	女子個人戦 準優勝
チアリーディング部	USA Nationals全国選手権大会2017	Show Cheer高校編成部門第1位合わせて高校編成Cheerグランプリ獲得
	USA Regional Competition 神奈川大会2017	Show Cheer高校編成Novice部門第2位入賞(合わせてチアアップ賞受賞)により全国大会出場
	秦野丹沢山開きオープニングセレモニー	出演
ストリートダンス部	秦野市中央納涼大会8月	出演
	ダンス発表会7月秦野市文化会館	主催
	秦野市消防フェスティバル10月	出演
	DAN DAN DANCE & SPORTS 1月	出演
かるた部	県かるた選手権大会	参加
	県高総文祭高等学校かるた大会	団体戦・個人戦 参加
吹奏楽部	西湘地区吹奏楽コンクール	高校A部門 銀賞
	西湘アンサンブルコンテスト	クラリネット四重奏金賞
	定期演奏会4月秦野市文化会館	主催
	広畑小学校クリスマスコンサート	参加
合唱部	第83回NHK全国学校音楽コンクール神奈川県コンクール	奨励賞
	秦野市合唱祭	参加
	神奈川県高等学校合唱祭	参加・合唱専門部会長賞
	広畑小学校クリスマスコンサート	参加
	第13回定期演奏会	主催
弦楽合奏部	定期演奏会3月7月	開催
	県大会神奈川県器楽・管弦楽演奏会	出場
	第41回全国高等学校総合文化祭「宮城大会」	派遣
	神奈川県合同ストリングオーケストラ	演奏者オーディション参加
	秦野たばこ祭	参加
	秦野老人保健施設みかん	依頼演奏
演劇部	第53回北相地区演劇連盟秋季大会10月	優秀賞
	ひろはた子ども園2月	出前演奏
	北相地区演劇連盟春季大会3月	参加
茶道部	高文連高校生茶会	参加
	勉強と親睦の茶会	参加
美術部	大根ふれあい祭り	作品展示
	創立90周年記念式典	作品展示
	高校総合文化祭美術展	出展
サウンド研究部	部内定期演奏会	6・7・9・11・2・月3開催
	伊志田・秦野曽屋・吉田島総合高校合同ライブ	開催
	たばこミュージックフェスタ	参加
英語部	10月交流会	ラトビアよりゲスト
	12月交流会	オーストラリアよりゲスト
	座間アメリカンスクール	訪問
写真部	大根ふれあい祭り	作品展示
	創立90周年記念式典	記録用写真撮影

※上記部活動以外でも、多くの部活がさまざまな活躍をしています。

寸描　母校2016年度
—平成28年度の進路状況と今後の取り組み—

キャリア教育支援グループ　柏木真人

２０１７年度入試の志願状況は、国公立大で前年並み、私立大で増加と対照的な結果となりました。

ここ2年ほど続いた鮮明な文高理低に変化の兆しが見られ、今春は社会科学系や工学系に人気が集まった。国立大で学部再編の動きが活発となり、それに伴い入学定員が文系から理系へのシフトが見られ、また私立大ではネット出願、受験料割引制度の拡大が志願者増の要因でした。さらに厳格化される定員超過抑制の影響は大きく、本校も大きな打撃を受けました。

このような入試環境のもと平成28年度卒業生355名の進路状況を報告します。

４年制大学280名（内国公立22名）、短期大学　６名、専門学校　10名、就職　１名、進学準備58名となっています。特に、国公立合格者数は、昨年の14名から飛躍的に伸ばすことができました。

参考までに、指定校推薦による進学者数は、67名（昨年58名）と増えました。

今回のトピックスとしては、10年振りで東京大学（理科１類）現役合格者１名が出ました。それに続き東京工業大１名、名古屋大学２名等難関大学の合格者が出たことです。

裏腹に、上記で触れた、定員超過抑制の影響によりＧＭＡＲＣＨ（注１）の延べ合格者数が122名（昨年176名）と激減してしまった事です。

この対策としては、生徒一人ひとりの目標は常に高いところに設定し、志を高く保ち貫く力が必要となるであろう。

最後に、大学入試センター試験もいよいよ今年度の新入生が最後の学年となり、あと残すところ３回となりました。これからの時代は、今までの伝統的な学力、すなわち「知識」の量から課題解決能力、判断力等の育成が重要視されますので、大学入試スタイルもそれに伴い変化してくることでしょう。

（注１）ＧＭＡＲＣＨとは、学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政の略

（注２）ＩＣＴとは、Information and Communication Technology（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）の略

2016年度（平成28年度）卒業生の進路状況

	合格者	入学者	入学者内訳			
			一般入試	指定校入試	公募制入試	ＡＯ自己推薦
国公立大学	22	22	18	0	4	0
私立大学	683	258	179	63	6	10
短期大学	9	6	4	2	0	0
専門学校	10	10	5	0	5	0
就職	2	1	—	—	—	—

喜び、満足、感動の花をお届けします
花生活応援 はなさよ
花小代
http://hanasayo.com　phone.0463-96-1187
神奈川県伊勢原市桜台 1-23-38

2016年度　主な大学・短大合格者延べ数

大学名	現	卒
国公立大学		
北見工業大	1	
岩手大	1	
茨城大		1
筑波大	1	
埼玉大	1	
東京大	1	
東京工業大	1	1
電気通信大	1	
首都大学東京	2	
横浜国立大	2	
県立保健福祉大	2	
静岡大	2	
静岡県立大	1	
都留文科大	1	
信州大	3	1
富山大		1
名古屋大	2	
私立大学		
青山学院大	19	3
麻布大	4	
桜美林大	7	
学習院大	7	
神奈川工科大	11	2
神奈川大	34	4
鎌倉女子大	8	
関東学院大	11	1
北里大	15	1
慶應義塾大	1	2
工学院大	13	4
國學院大	13	
国際医療福祉大	10	
国士舘大	8	
駒澤大	17	1
相模女子大	8	
自治医科大		1
芝浦工業大	4	5
上智大	5	
昭和女子大	2	
昭和薬科大	2	
成蹊大	7	
成城大	5	
専修大	30	3
玉川大	7	3
中央大	31	6
帝京大	12	
帝京平成大	3	1
東海大	33	1
東京家政大	6	
東京電機大	9	
東京薬科大	4	
東京都市大	29	3
東京農業大	22	1
東京工科大	9	1
東京理科大	2	1
東洋大	15	1
日本女子大	4	
日本体育大	6	
日本大	50	2
フェリス女学院大	1	
法政大	28	5
明治学院大	30	
明治大	25	2
横浜薬科大	5	
立教大	12	2
早稲田大	9	4
私立短大		
共立女子短大	1	
日本大短大	1	
横浜女子短大	1	
鶴見大短大	1	
東海大学医療技術短大	2	
國學院大栃木短大	1	
立教女学院短大	1	
上智大短大	1	

くるまのタイヤ交換・パンク本格内面修理

（有）細谷タイヤ商会

店長　細谷光治（高32回）

伊勢原市桜台1-17-19
TEL（0463）95－0495

会計報告

平成28年度全国大会支援金収支決算報告

収入（繰越金）	1,782,539円
支出（派遣費、手数料）	60,102円
残金（繰越金）	1,722,437円

今後とも、よろしく御支援のほど、お願い申し上げます。なお、今年も支援金の振込用紙は、送付いたしませんので、その旨ご了解ください。

平成28年度全国大会 支援金振込者

高2杉崎幸雄　高7太田正三
高2内田　均　高8高橋捷利
高4澤　明　高12大村輝政
高4内藤美彦　高14遠藤勝義
高4大庭　清　高14川口敬昌
高5栗原道忠　高16今井文男
高5岩田将臣　高18水野　晃
高7石田憲正　高36関口仁也

●お詫びと訂正

●本誌45号（12頁、同期会への祝金）で、関　恒久（副会長）の連絡先090—2930—6961を追加。

●（18頁、5段）物故者で、高2石井初男様削除。お詫び訂正させていただきます。

チアリーディング部全国優勝

平成29年3月27日に開催されたUSA Nationals 2017（全国選手権大会）においてShow Cheer-Novice部門1位、合わせて高校編成Cheerグランプリを獲得しました。部員たち自ら演技構成を考え、気持ちを一つにして練習を重ねました。全国大会当日は、いつも応援して下さる保護者や友人・先生たちへの感謝の思いを込めて、最高の演技を披露することができました。

70回10名，71回11名　計21名出場

春の異動

次の先生方が転退職されました。長い間、ありがとうございました。（敬称略）

【退職】

原　救夫　松永　和政
清水　浩　大石　延男

【転任】

足立　利恵（鶴見）
寶田　ますみ（伊勢原）
山本　博之（菅）
伊東　直美（座間総合）
藤井　美野（小田原）
鈴木　美智代（教育局　厚生課）

叙勲

おめでとうございます。（敬称略）

瑞宝双光章
古木　文一（高10回）（元公立中学校長）
瑞宝小授章
安藤誠二（高14回）（元公立小学校長）
石原　春男（高16回）（元公立高等学校長）

物故者

慎んでお悔やみ申し上げます。（敬称略）

【旧職員】

配島　成光（昭41～52）国語
實方　正（平6～9）校長
片野美智子（平10～13）事務長
近藤　賢一（昭42～60）英語

【会員】

中16小巻卓司　中21加藤　憲
中18坂間　博　中21山口秋久
中19蜷川栄蔵　併1川合真一
中19吉田文夫　高2中田　仁

編集後記

46号はいかがでしたか。今号は杉山長風先生の講演の話はお休みいたしました。次号から残りを順次掲載する予定です。

いままで青木委員長の下で発行を続けてきましたが、事情により交替して、小泉があたることになりました。今後共よろしくお願いします。

〒257-0004　秦野市下大槻一一三番地　県立秦野高等学校内
秦野高等学校同窓会報委員会
ホームページアドレス　http://www.koryokai.info/
振替口座　00120—8—22689
発行責任者　畑野公保（高7）
北村　卓（高20）　小林　充（高5）
山口雅弘（高14）　成田勝也（高37）
小椋義一（高19）　山口知英（高33）
小泉広澄（高17）